

トンボ口

学校だより 令和6年度第十号（通巻四九二号）



自主・気魄・根性

発行
令和7年2月22日
薩摩川内市立里中学校
薩摩川内市里町里3377
TEL 09969-3-2002
責任者
校長 加藤 晃一

「自立」

校長 加藤 晃一

先日、TVを見てみると、「奄美大島のヒカンザクラが満開になり、多くの人々を魅了している」とのニュースが流れてきました。ヒカンザクラは、こちらでポピュラーな「ソメイヨシノ」より一ヶ月あまり早く開花し、ピンク色が濃い花を咲かせます。私が奄美大島に赴任していた際は、本茶峠や秋名集落など、ヒカンザクラの名所に出かけ、満開の桜並木を楽しんでいました。そのニュースを見ながら、春の訪れが近づいているのだと感じることでした。

暦の上では、2月3日の立春が過ぎ、春を迎えました。しかし、その翌日の4日から9日にかけて、この冬最大の寒波の影響を受け、薩摩川内市でも多くの地域で積雪に見舞われました。学校によっては、臨時休校の措置を取ったところもあったようです。まだまだ寒い日が続きますが、今後は、三寒四温と言われるように、気温も少しずつ暖かくなっていくでしょう。

さて、2月になり、3年生は、私立高校入試や公立高校推薦入試を終え、少しずつ進路が決まってきたところだと思います。3年生の教室には、2年生と職員からの応援の寄せ書きが掲示され、里中全員で3年生を応援している姿を嬉しく感じています。春になり、それぞれの進路が決まると、いよいよ「島立ち」を迎えます。里中学校の学校教育目標は、「ふるさとを胸に、社会の中で自立していく生徒の育成」です。「島立ち」後に自立した生活ができるよう意識して教育活動を行っています。

では、自立とは、どのようなことをいうのでしょうか。

東京大学教授の熊谷晋一郎さんは、著書の中で「自立は、依存先を増やすこと」と述べておられます。ご自身の体験を踏まえて、「人間は、物であつたり人であつたり、さまざまなものに依存しないと生きていけない。（中略）実は膨大なものに依存しているのに、私は何も依存していません。自立を目指すなら、むしろ依存先を増やさないといけない。」と。

確かに、自立した私たち大人も、普段の生活はもろろんのこと、昨今、毎年のように起こる災害時にも、多くの人々が支え合って生きています。中学生の時期に、自分でできることを増やすと同時に、人を支え、そして支えられることも大切なことなど、「自立」について深く考え、本当の意味で自立できる人に育ってほしいと思います。

お薦めの一冊 中野達也先生



「動物のひみつ」 アシュリー・ワード 著

シドニー大学の「動物行動学」の教授が、オキアミからチンパンジーまで動物たちのさまざまな生態や知られざる行動を紹介している本です。人間社会も同じだと気づかされるところが面白い。動物たちの生態を学びながら、私たち人間の本質も深く理解させてくれます。動物のひみつを通して、人間のひみつを知ることができる一冊です。

1年生が中学校生活を紹介～わくわく座談会・入学説明会

1月30日(木)は、里小学校から9人、中津小学校から4人、鹿島小学校から6人の6年生と保護者の皆様をお招きし、5校時に『わくわく座談会』を開催しました。1年生は、この1年間を振り返って作成したプレゼンテーションで中学校生活を紹介しました。座談会では、6年生から中学校生活について積極的に質問が出されました。6年生の感想から「あんな中学生がいたら、中学校がとても楽しみになりました。しかし、勉強が不安です。予習、自習などをして勉強に追いつけるようにします。」とありました。中園鹿島小校長も「子供達は進学のことで不安でしたが、1年生の明るい笑顔をみて安心できたようです。」と話されました。

入学説明会では、4月から中学校に入学する児童の皆さんが、中学校入学への心構えをつくる上で有意義な説明会となったようです。説明を真剣に聞く姿に中学校入学への期待や意欲を感じました。6年生の里中学校への入学を心より歓迎します。



いじめ0への取組

12月に保護者に御協力いただいたいじめアンケートの結果についてお知らせします。

○お子さんは、学校生活を楽しく過ごしていますか。
楽しく過ごしている 100%
過ごせていない 0%

○お子さんは、今、学校でいじめを受けていますか。
受けていない 97% 受けている 0%
はっきりしない 3%

○お子さんは、いじめを見たことがあるとは話をしたことがありますか。

話を聞いたことは「ない」 91%
話を聞いたことことがある 9%

○「友達の悪口を言ったり、友達の心を傷つけてしまったりしたことがある」と話したり、お子さんの様子からそう伺えたりすることがありますか。
そういうことはない 97%
話を聞いたり、伺えたりした 3%

子どもたちにとって「学校が楽しい」と思えることは何より大切なことであると考えています。しかし、少数であるものの「いじめ」と捉えているケースもありました。いじめは「どの子どもにも、どの学校においても起こりうるものである」という認識に立ち、いじめを許さない学校づくりを通して、いじめの未然防止を図るとともに、いじめの小さなサインを早期に発見し、早期に対応することに努めています。そのためには、学校・家庭が連携して、いじめ問題に取り組む必要がありますので、何か気になることがございましたら、早期に学校への情報提供をお願いします。

冬休みに石原航介生徒会長と西川妃華副会長がオンラインで「鹿児島県いじめ問題子どもサミット」に参加し、代表校によるいじめの撲滅への取組の紹介や他校との交流を通していじめ撲滅について考えました。そこで、学校一丸となって「いじめ」が生まれない環境を作っていくために「里中いじめ撲滅宣言」を制定しました。また、文化部も全校生徒職員で参加する「みんなで遊ぶ日」を企画して、絆づくりを進めています。

里中いじめ撲滅宣言

- 1, 相手の立場を考え、発言する前に言葉を見直そう。
- 2, 一人で抱え込まず、誰かに相談しよう。
- 3, 見て見ぬふりはやめよう。勇気を出して行動してみよう。

令和7年1月14日制定 第79期生徒会

全国初！タブレットで試験に挑戦

1月15日、16日、鹿児島学力・学習状況調査が実施されました。昨年度までは、紙媒体の調査問題でしたが、今年度から問題がデータ化されて、生徒はタブレットで解答しました。職員は、タブレットでの実施は初めてだったので、どのようになるのだろうという不安は多少ありましたが、生徒は戸惑うことなく解答しました。これからの試験はこのような形で実施されていきます。結果は後日、分析してお知らせします。



「気付いてあげよう、友達の困りごと」の授業

1月11日、薩摩川内市役所社会福祉課の山下さん、上野さんによる授業がありました。ヤングケアラーとは、本来大人がやるはずだとされていることを大人の代わりにしている18歳未満の子供のことを言い、大人や友人にも相談できずに、本人が責任や負担を抱え込み、学業や友人関係に支障が出てしまいます。周囲の仲間や大人が、本人の様子の変化やつらさに気づき、声をかけていくことが重要だと学びました。「これから私は、島立ちをして新しい環境になるので、悩みや困ったことがあったら、一人で抱え込まずに誰かに相談するようにしたい。」と感想を述べました。



おめでとう！

★ 県中学校新人体重別柔道大会

66kg級優勝 石原航介 55kg級準優勝 後藤伝真

★ 第52回JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール
ポスター部門 佳作 是枝 彩葉

3月の行事

- | | |
|--------|-------------------|
| 5日(水) | 公立高校一般入試(～6日まで) |
| | 焼酎「島立ち」ラベル貼り(10日) |
| 7日(金) | 校内球技大会③④ |
| 8日(月) | 卒業式予行・準備 |
| 12日(水) | 第78回卒業式 |
| 17日(月) | 飴ミュージアム見学会(午後) |
| 25日(月) | 修了式・離任式 |
| | 里幼小中教職員送別会 |